

MDP-5

モバイルデータプレーヤー

取扱説明書(基本編)



このたびは、ヤマハモバイルデータプレーヤーMDP-5をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。MDP-5のさまざまな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、お読みになったあとでも、いつでもお読みになれるところに大切に保管してください。

MDP-5の操作方法について詳しくは、付属の別紙が付属のCD-ROMに入っているPDFマニュアル「MDP-5取扱説明書(詳細編)」をご参照ください。

PDFマニュアルには、MDP-5に内蔵されている音色の一覧やMIDIデータフォーマットなども掲載されています。

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- 市販の音楽/ サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本紙に掲載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、MIDIデータ、WAVEデータなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

音楽を楽しむエチケット		楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特気配をしましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
<small>これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。</small>		

付属品

電源アダプター (PA-D09)、USBケーブル、スマートメディア™、取扱説明書(基本編)(本紙)、取扱説明書(詳細編)、CD-ROM、インストールガイド

仕様

音源	: AWM音源　494音色+10ドラムキット+2 SFXキット (最大同時発音数32)
再生対応フォーマット	: 記録媒体：スマートメディア™ (2, 4, 8, 16, 32, 64, 128 MB) <p>シーケンスフォーマット：SMF (スタンダードMIDIファイル)フォーマット0 音色配列フォーマット：GMシステムレベル1、GMシステムレベル2、XG、GS</p>

ディスプレイ	: LCDディスプレイ (16文字 × 2行)
付属端子	: USB、MIDI IN、DC IN、LINE IN、MIC IN、OUTPUT/ PHONES
定格電源	: DC9～12V または 単3電池4本 (アルカリ 電池推奨)
消費電力	: 2.3W (ACアダプターPA-D09使用時)
連続動作時間	: 約6時間 (アルカリ単3電池使用、デモソング連続再生時)

*連続動作時間は、電池の種類や本体の動作条件、ソングデータなどにより異なります。

寸法(開口×奥行き×高さ)	: 168mm × 137mm × 50mm
質量	: 350g

別売品のご紹介

ヘッドフォン	: HPE-30
スピーカー	: YST-M101 (2台1組) <p>YST-M20DSP (2台1組)</p>

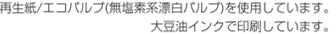
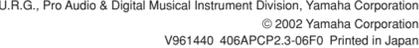
故障かな?と思ったら

- MDP-5の電源が入らない。**
 - 電源プラグを本体と家庭用(AC100V)コンセントに、確実に差し込んでください。または、本体に乾電池を入れてください。

- 全体的に音が小さい。まったく音が出ない。**
 - ヘッドフォンやスピーカーなどを接続してください。
 - 【MASTER VOLUME】を上げてください。
 - マイクスワッチを使用した場合は、トラックの再生をONにしてください。(「取扱説明書(詳細編)」参照)

- 音が歪む。**
 - 【MASTER VOLUME】を下げてください。
 - 乾電池を入れ替えるか、電源アダプターを使用してください。

- ソングファイルの再生中、一時的に止まることがある。**
 - ソングファイルの再生は、スマートメディアからのデータの読み出しと同時に進んでいるため、ソングファイルの再生時間あたりのデータが多すぎると、スマートメディアからのデータの読み出しが間合わなくなることがあります。このような場合は、シーケンスソフトウェアの上でSMFの不要なデータやトラックを削除したり、テンポ設定を遅くして再生してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について			
	「ご注意ください」という注意喚起を示します。		「必ず実行」してくださいという強制を示します。
	～しないでください」という「禁止」を示します。		
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合は補償はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態(電源スイッチが「STANDBY」の状態)でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。
■ 「警告」と「注意」について
以下、誤った取り扱いをすることで生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

	警告 「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	電源/電源アダプター
	電源は必ず交流100Vを使用する。エアコンの電源など交流200Vのがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。
	電源アダプターを使用する場合は、必ず指定のもの(PA-D09、PA-3B、PA-3C)を使用する。(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、火災などの原因になります。
	電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。感電やショートのおそれがあります。
	電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。
	分解禁止
	この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点にご相談ください。
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	

	注意 「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	

	電源/電源アダプター
	電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。
	長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電や火災、故障の原因になることがあります。
	たご配線をしていない。音質が悪化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。
	乾電池
	乾電池はすべて＋/－の極性表示どおりに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。
	乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)を一緒に使用しない。発熱、火災、液漏れの原因になります。
	乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。乾電池の中のものが目に入ると危険です。また、火の中に入れてと破裂するおそれがあります。
	使い切りタイプの乾電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。
	長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。
	乾電池は子供の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。
	乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一滴が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。失明や化学やけどなどのおそれがあります。
	設置
	直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。
	本体の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損したり、お客様や他の方々へのけがをしたりする原因になります。
	大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害原因になります。

	スマートメディアのバックアップ
	保存したスマートメディアの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のスマートメディアにバックアップとして保存されることをおすすめします。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

●保証書 本機には保証書がついています。保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。	<small>消耗部品の例 ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子など</small>
●補修用性能部品の最低保有期間 製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。	
●保証期間 お買い上げ日から1年間です。	
●保証期間中の修理 保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。	●持込み修理のお願い まず本紙の「故障かな?と思ったら」をよくお読みの方え、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。
●保証期間経過後の修理 修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。右記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。	●製品の状態は詳しく 修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)		
北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区節町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内 TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中区川元町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新戸屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内 TEL (087) 822-3045
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
【本社】CSセンター	〒430-8650	静岡県浜松市中区沢町10-1 TEL (053) 465-1158

*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

■営業拠点		
国内楽器営業本部 鍵盤営業部 企画推進室	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11 TEL 03 (5488) 5443
国内楽器営業本部 EM営業部 企画推進室	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11 TEL 03 (5488) 5476
PA・DMI事業部 EKB営業部 CL・PK営業課	〒430-8650	浜松市中沢町10-1 TEL 053 (460) 3275

クラビノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター	
受付日： 月曜日～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)	
受付時間： 10:30～19:00	
TEL: 053-460-5272	
サポート： http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html	

AVお客様ご相談センター(別売品スピーカーに関するお問い合わせ窓口)	
受付日： 月曜日～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)	
受付時間： 10：00～12：00/13：00～18：00	
TEL： 053-460-3409	

電子ピアノ/キーボードのホームページ	
http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/	
ヤマハマニュアルライブラリー	
http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/	
「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」ミュージックイークラブ・ドットコム	
http://www.music-eclub.com/	
よくあるご質問(Q&A/FAQ)	
http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html	

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

メッセージ一覧 (ABC順に掲載しています。)

表示	意味/原因
!Bad File	ファイルが壊れています。または、データが存在しません。
!Buff Full	一度に大量のMIDIデータを受信したので処理できませんでした。不要なMIDI情報を削除したり、転送速度を遅くしたりして、もう一度送信してみてください。
!Can't Open	・何らかの原因でファイルを開くことに失敗しました。 <ul style="list-style-type: none">指定したファイルがスマートメディア上に存在しませんでした。
!Card Full	スマートメディアの容量が一杯になりました。
Completed!	完了しました(操作が完了したときに表示されます)。
Executing	実行中です(コマンドの実行中に表示されます)。
!FileHdErr	読み込むファイルのヘッダーが違います。MDP-5用のファイルかどうか確認してください。
!Format	フォーマットが不正終了しました。
!lliglFile	SMFの読み込みに失敗しました。再実行しても読み込みめない場合、ファイルが壊れている可能性があります。
!lligl!Protect	暗号化情報が入っているファイルを読み込みました。
!lliglSMF*	SMF読み込みに関するエラーメッセージです。再生しようとしたファイルが正しいか確認してください。
Insert Card	スマートメディアが挿入されていません。
!Low Battery	電池が消耗しています。電池を交換してください。このメッセージが表示されているときは、スマートメディアの機能(データの書き込み/再生など)が使えません。MIDIデータを受信中にエラーが生じました。もう一度送信してみてください。
!MIDI Data	
!Mount Err	スマートメディアのマウント(認識)に失敗しました。
!No Card	スマートメディアが挿入されていません。
No File	ファイル/フォルダーが見つかりません。
Not Available	クイックマイナスイワン未対応のデータです。
!Not FormatO	SMFのフォーマット0でないファイルを再生しようとした。カードファイラー(別紙「インストールガイド」参照)を使用するとフォーマットを交換することができます。
!Not SMF	

ご使用前の準備

■ 電源の準備

MDP-5は電源として、電源アダプターが乾電池を使うことができますが、基本的には付属の電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

・家庭用コンセントから電源をとるときは

付属の電源アダプターPA-D09(または指定の電源アダプターPA-3B、PA-3C)をご使用ください。電源アダプターのDCプラグを本体リアパネルのDC IN端子に差し込んでから、電源アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントに差し込みます。

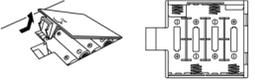
① 電源アダプターは、必ず付属/指定のものをお使いください。他の電源アダプターを使用した場合、故障などの原因となり、大変危険です。

② 電源は必ずAC100Vを使用してください。

③ スイッチが「STANDBY」の状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。

・乾電池を使うときは

- ① MDP-5を裏返し、電池プタをはずします。
- ② 市販の乾電池(単3乾電池 アルカリ電池推奨)を4本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- ③ 電池プタを閉めます。



④ ノート 乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

⑤ ニッケル水素電池やニッカド電池などの充電式電池は使用しないでください。充電式電池を使用すると、本体が正常に動作しないことがあります。

乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

① 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。

② 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)と一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。

③ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

・各接続機器の電源を入れる場合

MDP-5と必要な機器の接続(下記「外部機器との接続」参照)が完了したら、MDP-5と外部オーディオ装置のボリュームが絞られていること(Oになっていること)を確認し、MDP-5→外部オーディオ装置の順で電源を入れてください。

また、電源を切る場合は外部オーディオ装置のボリュームを下げ、逆の順番で切ってください。

■ MDP-5の電源を入れる

① 電源をオン/オフするときは、スピーカー保護のため、必ずMDP-5のボリュームと接続先の外部オーディオ装置のボリュームを下げてください。

[STANDBY ON]を[ON]にセットします。

→電源が入り、画面に表示が現れます。

電源を切るときは、[STANDBY ON]を[STANDBY]にセットします。

→ディスプレイの表示が消えます。

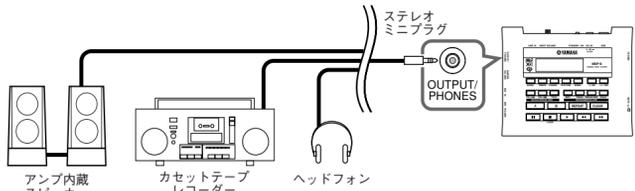
② MDP-5の電源を入れたまま、電源アダプターのDCプラグを本体から抜かないでください。

外部機器との接続

① 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った状態で行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(O)にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

再生音を聞く

MDP-5にはスピーカーが内蔵されていません。音を出すためには、ヘッドフォンやアンプ内蔵スピーカーなどとの接続が必要となります。ヘッドフォンをお使いになれば直接音を聞くこともできます。

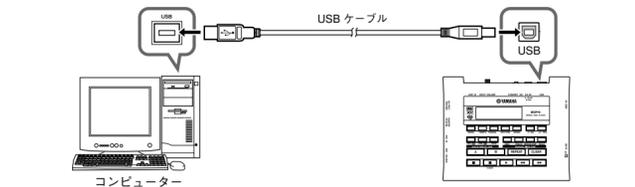


④ ノート ・ステレオスピーカーなどに接続したときは、MDP-5の音量は中位の位置にして、ステレオ/スピーカー側で音量を調節してください。入力音のボリューム調節のないクラビノーバなどの電子楽器に接続したときは、MDP-5側で音量を調節してください。・オーディオ接続コード及び変換プラグは抵抗のないものをお使いください。

ソングをスマートメディアに書き込む

④ ノート コンピューターと本体を接続してデータの送受信を行なう場合は、付属/指定の電源アダプターをお使いください。

付属のUSBケーブルを使ってコンピューターのUSBポートとMDP-5のUSB端子を接続します。



MDP-5でこんなことができます

ソング再生

インターネットのホームページからダウンロードしたソングを、簡単操作で再生できます。

ピアノなどでアンサンブル演奏(マニュアルマイナスイオン)

MDP-5でソングの伴奏パートだけ再生しながら、メロディパートをピアノやクラビノーバ、管楽器などでご自身で演奏して、アンサンブル演奏を楽しむことができます。

カラオケ

市販のマイクをつないでカラオケを楽しめます。キーを調節したりエフェクトをかけたりすることもできます。

ピアノなどで片手練習(クイックマイナスイオン)

右手パートと左手パートが別々のトラックに入っているソングを使うと、練習したいパートの再生をワンタッチでOffにしてピアノやクラビノーバで片手練習をすることができます。

練習機能

楽器の練習に便利な「テンポの調節」「チューニング」「メトロノーム/リズム」「カウントイン」機能が付いています。

繰り返し再生(リピート)

曲中のフレーズを設定して繰り返し再生できますので、練習したい部分を集中して練習することができます。

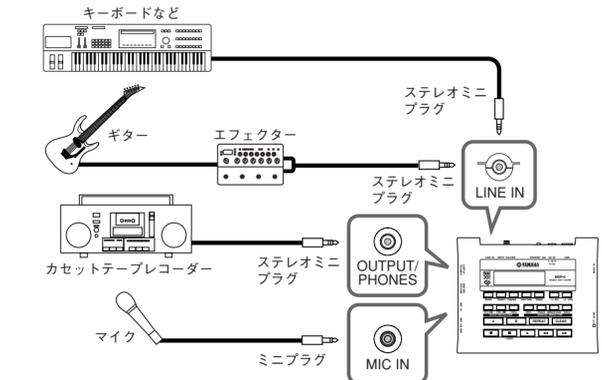
④ ノート

- ・コンピューターでMIDIを扱う場合、お使いのコンピューターや目的にあったMIDIアプリケーションソフトウェアが必要となります(別紙「インストールガイド」参照)。
- ・USB端子を使うときは、MIDI IN端子は無効となります。
- ・MDP-5とコンピューターをUSBケーブルで接続する場合は、必ずUSBケーブルを接続してからMDP-5の電源を入れてください。また、USB MIDIを扱うアプリケーションソフトが立ち上がった状態で、MDP-5の電源を入れたり切ったりしないでください。
- ・MDP-5はUSB接続後しばらくしてから通信を開始します。
- ・送受信できるデータはMIDIデータのみです。オーディオデータは送受信しません。
- ・市販のスマートメディアドライブを使ってソングをスマートメディアに書き込むこともできます。

カラオケをする/楽器演奏をMDP-5で再生する

MDP-5と市販のマイクを接続してカラオケをすることができます。また、MDP-5と楽器を接続すれば、ご自分の演奏をMDP-5で再生することもできます。

さらにカセットテープレコーダーを接続すれば、ご自分の歌や演奏を録音することもできます。[LINE IN]に接続した楽器などの音量は[INPUT VOLUME]、マイクの音量は[MIC VOLUME]で調節します。



④ 本体に入力する際は、出力側の音量をご確認ください。出力側の音量が大きすぎると、本体が故障するおそれがあります。

外部MIDI機器でMDP-5をコントロールする

市販のMIDIケーブルを使ってMDP-5のMIDI IN端子と外部MIDI機器のMIDI端子を接続すれば、外部MIDIキーボードなどでMDP-5内蔵のXG音源を鳴らしたりすることができます。

④ ノート MDP-5の音色配列について

MDP-5は「GMシステムレベル1」2「XG」「GS」の音色配列に対応していますが、パネル操作で音色配列を切り替えることはできません。MIDIデータ中の「GM ON」「XG ON」「GS ON」のメッセージにより切り替わります。

MIDIデータ中にこれらのメッセージがない場合は音色配列が切り替わりませんのでご注意ください。

メロディパート(メインパート)を自分で演奏してみましょう

ソングをスマートメディアに書き込む

① スマートメディアの扱いについては、裏面の「スマートメディアの取り扱いについて」を参照してください。

④ ノート MDP-5では、演奏データ(MIDIデータ)を総称して「ソング」と呼んでいます。

1 MDP-5の電源の準備をする

本紙「ご使用前の準備」の「電源の準備」を参照してください。MDP-5の電源はオフのままにしておきます。

④ ノート コンピューターと本体を接続してデータの送受信を行なう場合は、付属/指定の電源アダプターをお使いください。

④ ノート ソングをMUMAからダウンロードした場合 MDP-5の電源の準備をし、リアパネルの【STANDBY ON】で電源を入れたあと手順5→手順7の順に操作してください。

④ ノート MUMAとは ヤマハ独自のミュージックデータ店頭販売システムです。

2 付属のソフトウェアをインストールする

付属のCD-ROMに入っているソフトウェアをコンピューターにインストールします。

インストール方法は、別紙の「インストールガイド」を参照してください。

3 MDP-5とコンピューターを付属のUSBケーブルで接続し、MDP-5の電源を入れる

接続方法は、本紙「外部機器との接続」の「ソングをスマートメディアに書き込む」を参照してください。

MDP-5とコンピューターをUSBケーブルで接続したら、MDP-5リアパネルの【STANDBY ON】で電源を入れます。

4 ハードディスクにソングをダウンロードする

インターネットのホームページから、ご自分のハードディスクにソングをダウンロードします。

ソングは、下記のホームページなどからダウンロードすることができます。

音楽データショップ

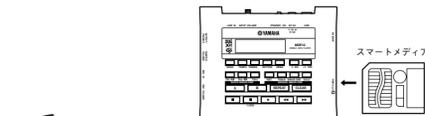
<http://www.music-eclub.com/musicdata/>

④ ノート MDP-5で再生できるデータの種類の

MDP-5で再生できるデータは、SMF(スタンダードMIDIファイル)フォーマット0のデータだけです。SMFフォーマット1のデータやオーディオデータは再生することができません。SMFフォーマット1のデータは、付属ソフトウェアのカードファイラーを使ってフォーマット0に変換することができます。

5 付属のスマートメディアをMDP-5に差し込む

スマートメディアの端子部(金色)を上向きにして、カードスロット(挿入口)に差し込みます。



6 ダウンロードしたソングを、スマートメディアに書き込む

手順2でインストールしたカードファイラーを使って、ご自分のハードディスクにダウンロードしたソングをスマートメディアに書き込みます。カードファイラーの使い方について詳しくは、カードファイラーに付属のPDFマニュアルをお読みください。

④ ノート ・MDP-5がカードファイラーとの通信状態に入ると、MDP-5の画面に「CardFiler Mode」が表示されます。MDP-5がカードファイラーとの通信状態にあるときは、スマートメディアを抜き押ししないようにしてください。・MDP-5がデモ曲再生モードにあるときは、カードファイラーとの通信状態に入ることができません。カードファイラーを動作させるときは、必ずデモ曲再生モードから抜けてください。・MDP-5とカードファイラーとの通信中に、なんらかの原因でMDP-5とコンピューターを接続しているケーブルが抜けるなどして接続が切断されると、MDP-5は通信状態から抜けることができなくなってしまいます。このような場合は、MDP-5の電源を入れなおしてください。

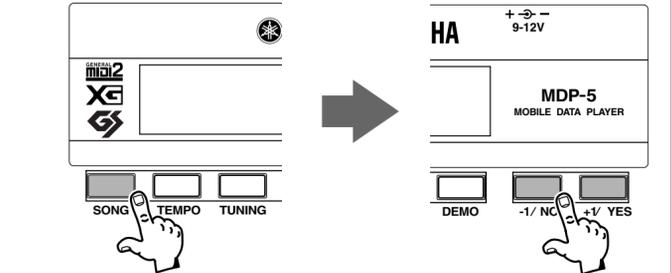
④ ノート ・ひとつのフォルダーに保存できる最大ファイル数は、100ファイルです。

メロディパートを演奏する

MDP-5の再生音を聞くためには、ヘッドフォンやアンプ内蔵スピーカーとの接続が必要です。接続方法は、本紙の「外部機器との接続」を参照してください。

7 ソングを選ぶ

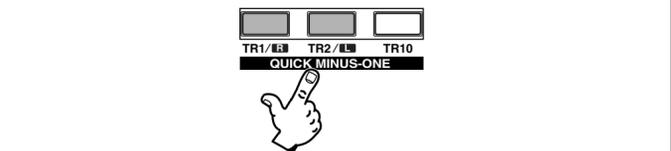
【SONG】を押してソング画面を表示させ、[-1/NO][+1/YES]を押してソングを選びます。



8 メロディパート(メインパート)を再生Offにする

【TR1/R】【TR2/L】のどちらか(または両方)を押してメロディパート(メインパート)を再生Offにします。

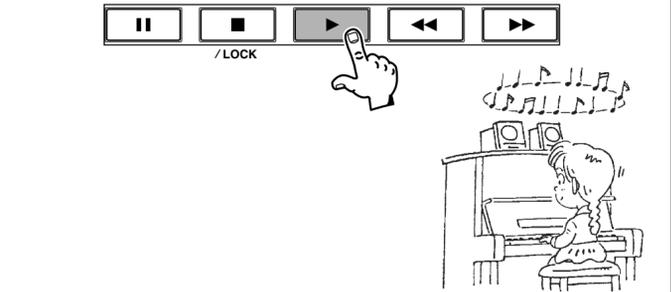
ボタンを押すごとに再生On/Offが切り替わります。再生をOffにすると画面下段に「Mute」、再生をOnにすると画面下段に「Play」が表示されます。



④ ノート 各トラックには、主に次のデータが入っています。【TR1/R】(トラック1) …… メロディパートまたは右手パート【TR2/L】(トラック2) …… サブメロディパートまたは左手パート【TR10】(トラック10) …… リズムパート

9 ソングを再生する

【▶】を押してソングを再生します。ソングの伴奏に合わせて、メロディパートをお好きな楽器で演奏しましょう。



10 ソングの再生をストップする

【■】を押してソングの再生をストップします。ソングが最後まで再生された場合は、自動的にストップします。

